

伊奈病院は

(財) 日本医療機能評価機構の
認定病院です



ハーモニー

理念

私たちは、安全で質の高い医療を提供し、患者さまに信頼される病院をめざします。

理念の実行方法

1. 私たちは、十分な説明と同意に基づき分かりやすい医療を実践します。
2. 私たちは、自己研鑽に努め、職員が一体となったチーム医療を実践します。
3. 私たちは、患者様の意思・権利・プライバシーを尊重し、思いやりのある医療を実践します。
4. 私たちは、地域に信頼される病院を目指すとともに、職員としての誇りを持つる職場を作ります。
5. 私たちは、健全で効率的な病院経営基盤を確立し、地域の基幹病院としての使命を遂行します。

薬の服用時間について

小川 桂

〔服用時間〕

食前：食事の30分前です。食べ物や胃酸の影響で薬の吸収が悪くなる薬などは食前に服用します。吐き気止め、漢方薬などが該当する場合があります。

食直前：食事を始める前です。最初の一口を食べる前に服用します。食事による血糖の上昇を改善する糖尿病の薬などが該当します。

食直後：食事のすぐ後です。食事が終わったらすぐに服用します。空腹時に服用した場合、吸収が悪くなる薬などが該当します。

食後：食後30分くらいです。正確に計る必要はありません。ほとんどの薬がこれに該当します。食事が取れなくても原則薬は飲んでください。(糖尿病薬など例外もありますのでご注意ください。)

食間：食事のおよそ2時間後です。食事の途中ではありません。薬の吸収が食事によって影響する物や、胃粘膜を保護する薬などが該当します。

寝る前：寝る30分前から寝る直前です。食事には関係しません。下剤や睡眠薬などがこれに該当します。

頓服：必要に応じてです。決められた時間ではなく症状があるとき(痛い時・発熱など)

このように薬の服用時間はそれぞれ意味があり、正しく飲まないと十分な効果が得られなかったり、思わぬ副作用が現れたりする場合があります。自己判断で服用時間を変えたりせず、医師または薬剤師にご相談ください。

新しい職員の紹介

眼科医師 白崎 慎英



今年の4月に入職しました白崎慎英（しらすきのりひで）と申します。蓮田市出身で平成15年に浜松医科大学を卒業し、浜松医科大学付属病院をはじめとした静岡県内の総合病院の眼科で経験を積ませていただきまして、地元である埼玉県に戻ってまいりました。

専門は網膜硝子体疾患ですが、結膜炎・白内障・糖尿病結膜症・緑内障・加齢黄斑変性（かれいおうはんへんせい）・眼瞼疾患（がんけんしっかん）・翼状片（よくじょうへん）・斜視（しゃし）などの眼科の一般的な病気も診療させていただきます。さまざまな手術にも対応し、わかりやすく説明するよう心がけていきます。

趣味は健康のために始めたジョギングと学生時代にやっていたサッカーの延長で始めたフットサルです。埼玉県に戻ってきて念願の浦和レッズの試合観戦も楽しみのひとつでもあります。3月に長男が生まれたばかりなので育児も頑張っていきたいと考えています。

人間は8割の情報を眼から取り入れており、見えづらくなると生活が不自由になります。眼の病気の中には手術で良くなるものもありますが、手遅れになると回復しないものまでありますし、気づかないうちに進行している病気もあります。「最近眼科にはかかってないなあ」という方がほとんどだとは思いますが、眼科健診を受けられてはどうでしょうか。

どうぞよろしくお願い致します。

看護の日

今年も5月17日（土）にユニクス伊奈店にて看護の日のイベントを開催致しました。

地域の皆さん御自身の健康に興味を持っていただき、そして伊奈病院を知っていただく事を目的に行いました。当日は143名の方々が参加してくださいました。血管年齢測定がとても人気で143名全員の方が測定しました。骨密度測定は少し時間を要する事もありましたが、皆さん列に並んで測定していただき御自身の身体の調子の確認をしていただきました。他にも血圧測定、栄養相談、白衣を着て看護師体験コーナーも人気でした。ロコモ体操では地域の方と一緒に体操を行う事も出来ました。

今後も伊奈病院は地域の皆さまの健康管理にお役立て出来る様努めてまいります。

来年も5月16日（土）にユニクス伊奈店広場にて開催予定です。多くの方の参加をお待ちしております。



新しい職員の紹介

整形外科医師 須賀 久司



今年の4月に当院整形外科に入職しました須賀久司と申します。生まれは秋田県ですが、埼玉県で育ち山梨大学の医学部を卒業後、埼玉医大医療センターで初期研修を、その後は亀田総合病院をはじめとしてあちこちの病院において整形外科としての修練を積みました。また、平成18年には大阪市立大学形成外科で5年間、一般形成外科と悪性腫瘍切除後の再建手術の修行を積み、整形外科に戻って今に至ります。専門は手の外科および再建外科です。

手の外科領域で日常よくみられるものとしては、バネ指を始めとする腱鞘炎、神経の圧迫が原因で生じる手のしびれや麻痺を主症状とする手根管症候群（しゅこんかんしょうこうぐん）・肘部管症候群（ちゅうぶかんしょうこうぐん）などの絞扼性神経障害（こうやくせいしんけいしょうがい）が多く、適切な治療を行うことによって不自由さを取り除いていくことが必要となります。また、労災・交通事故による骨折や神経・血管・腱の損傷に対する修復や皮膚・軟部組織の欠損などに対する再建手術を担当させていただきます。

新しい職員の紹介

内科医師 櫻井 正



今年の4月より勤務しております内科の櫻井正と申します。出身は群馬県です。これまでは、東京女子医科大学付属膠原リウマチ痛風センターを経て自治医科大学付属さいたま医療センターにて診療に従事して参りました。現在も自治医科大学さいたま医療センターリウマチ科には非常勤として勤務しております。当院では、主に一般内科を中心としてリウマチ性疾患も診察させていただいております。関節リウマチ・全身性エリテマトーデス・多発性筋炎／皮膚筋炎・シェーグレン症候群などが代表的な病気です。関節リウマチの治療として生物学的製剤が登場し、点滴だけでなく皮下注製剤もあることから患者それぞれのライフスタイルに合わせた治療が可能となってきております。

最近では、リウマチ性多発筋痛症（PMR）やRS3PE（手や足が突然むくみ痛みも伴う病気です）、偽痛風、血管炎といった高齢化とは決して無縁ではない病気も多くなってきているように感じます。その中でも、PMRやRS3PEは無治療では患者様のQOL（生活の質）に大きな影響を与えますが、治療によって劇的に改善することが多く、難病と言われるリウマチ性疾患の中でも治癒の期待が持てる疾患群です。

患者様ご自身やご家族の考えを尊重しながら治療にあたりたいと考えておりますのでよろしくごお願い致します。

患者さまからのメッセージ

- Q** 今回初めての手術で、良い先生がいらっしゃるということで、自宅から遠いこちらの病院を選びました。家族の面会も週末になるため不安もありましたが、看護師、助手の皆さんがとても親切に接してくださり、また担当の先生も術後の不安や解らないことについて、穏やかな笑顔で説明してくださったので、安心して入院生活を過ごすことができました。ありがとうございました。
- A** 退院おめでとうございます。お褒めの言葉をありがとうございます。患者さまの不安に寄り添う看護の大切さを再確認しました。お大事にしてください。
- Q** 検査についてのお願い。検査の項目（血液など）が多いと、非常に支払いが高くなり、3割負担の者には負担です。項目不要なものは入れずにやってほしいです。よろしくお願いします。
- A** 検査については必要な検査のみ行っており、正確な情報を得るために必要となっております。検査についてご質問がある際は外来スタッフ等気軽にお声掛けください。この度はご意見をいただきありがとうございます。

緩和ケアの部屋

今回は、がん情報を探するときのポイントについてお話ししたいと思います。

1つ目は「今必要な情報は何かを考える」ということです。メモに書き出すことで頭の中を整理し、人に伝えるきっかけとなり、さらには情報のありかを探すことに繋がります。

2つ目に「インターネットを活用する」です。たくさん情報を簡単に入手することができます。

3つ目に「信頼できる情報か考える」です。複数の情報を照らし合わせ、主治医に確認して判断しましょう。

4つ目は「行動する前に周囲の意見を聞く」ということです。得られた情報をもとに行動する前に、主治医や家族、また患者仲間などに意見を求めることで、判断の助けになります。

緩和ケア認定看護師

佐久間 紀香

新入職員紹介

診療部

須賀 久司 白崎 慎英
早川 依里子 櫻井 正

看護部

高戸 幸子 前野 美佳
不破 佳代 石川 裕子
鈴木 彩子 永井 則代
阿部 愛美 今江 広子
榎本 圭那 大塚 梢
永井 千香子 大塚 康
前島 聖美 田尻 一美
尾ヶ井 佳純 小沼 恵

リハビリテーション科

春菜 看美 峯岸 美紀
鴻野 さとみ 染谷 崇之
松本 砂希 高橋 彩子
大久保 勇紀 西東 友香
上條 ひかり 野澤 清志

臨床工学科

神尾 竜介 岩崎 由真子
清水 健吾 関根 枝里子

検査科

吉田 良平
加賀谷 俊彦

放射線科

飯田 美奈子

薬剤部

町田 袖衣

保育室

金子 黎

栄養科

佐藤 真湖

健康管理課

岩本 博樹

地域連携課

渡邊 美子 阿部 奈菜実
小林 祐己 加藤 美咲
長谷川 真菜花

医事課

総務人事課

事務局

広報委員一同



医療法人一心会 伊奈病院

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室 9419

TEL : 048-721-3692(代)

ホームページ :

http://www.issin.or.jp/ina_new/

公式 facebook ページ : <http://www.facebook.com/inahospital>



当院の携帯サイトはQRコードよりアクセスしてください。

http://www.issin.or.jp/ina_new/mobile/

